



まこと館だより



Est.1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

理事長閑話 うめ草③

～映画は心の癒し処、ビタミン剤～

私は映画を観ることが好きです。特に劇場で鑑賞します。立川にはシネコン「立川シネマシティ1, 2」が在り、毎日10本以上の映画が上映されています。今はTSUTAYA・DVDショップで、新作から古いアカデミー賞作品、邦画から洋画までお好みに合わせて安く借りられます。わざわざ映画館に行くまでもなく自宅で鑑賞できるのにと、皆さんは思うでしょう。でも劇場の大きな画面と響き渡るサウンドで鑑賞する映画は、ちんまりとしたテレビで観る物語と全く違う世界です。そう、主人公やストーリーに感情移入して現実と全然違う異次元の世界に自分を置く楽しみなのです。人生はどうしても一本の線、狭い道を過去から現在、そして未来まで歩いていくわけです。一本道です。でも他の世界も経験したいと思った事はありませんか、皆さん。人生観が広がりますよ。私は用事の無い週末、午前中メガロスでトレーニングをした後、ゆったりと映画館のシートに身を沈める黄金の時間、そして一人で入る映画の世界。何より楽しみにしています。そこで今年に入ってから私の鑑賞した映画をご紹介します。半年で12本、月平均2本ですね。

- ①希望のかなた カウリスマキ監督
- ②デトロイト キャスリン・ピックロー監督
- ③スリービルボード ベネチア映画祭・トロント映画祭受賞作品
- ④ペンタゴンペーパー トムハンクス・メリルストリープ主演
- ⑤グレイテストショーマン ヒューシャックリン監督
- ⑥ウィンストンチャーチル メイクの辻一郎オスカー賞受賞
- ⑦太陽がいっぱい アランドロン主演
- ⑧妻よバラのように/家族はつらい 山田洋次監督
- ⑨50回目のファーストキス 主題曲歌う平井堅のギター伴奏は橋本幸太
- ⑩万引き家族 是枝裕和監督カンヌ映画祭プロムドール受賞
- ⑪空飛ぶタイヤ 原作池井戸潤
- ⑫終わった人 舘ひろし主演



映画批評は今回目的の外です。それぞれ楽しませてもらい、考えさせられる作品でした。

理事長 橋本正明

事業本部長メッセージ

6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨災害そしてその後の猛暑のなかで想定を超えた厳しい自然との闘いに直面する多くの人々がいます。半世紀前の「地球の温暖化による環境破壊や自然災害を予測する特集記事」を改めて思い出しました。かつて漫画や空想の世界にあったものが次々に作り出されるなど人間の創造する力は無限のように感じる反面、自然環境と同様に人々がつくる家族や地域社会が生み出す問題は、自らの力だけでは回復困難な状況にあるのではと懸念されます。私たちの仕事は、その厳しい状況の中で当事者を援助・支援することですが、同時に背景としての地域社会への働きかけが求められています。至誠学舎立川は、多くのボランティアの方々を支えられ地域社会とのネットワークを持っています。「至誠でしあわせ」と感じている子どもたちやご利用者、そしてご家族の気持ちがエビデンスとなり職員一人一人の働きが人々のつながりや地域社会を変革していくきっかけになっていけるのではとひそかに思っています。

この夏も、全社協国際部からアジアの研修生を迎えました。ウィラーさん(タイ王国)です。8月31日まで至誠学園、至誠ホーム、大地の家、まことくらぶ、大空の家で研修をします。どうぞよろしくお祈りします。

児童事業本部長 高橋久雄

事業本部情報

♥ 児 童 事 業 本 部 ♥

まことくらぶでは毎年9月に2泊3日の宿泊行事を行っています。普段は一生懸命仕事に取り組まれている皆さんもこの時ばかりは、カラオケや温泉、花火にビールと年に一度の旅行を大変楽しみにされています。ここ最近を振り返っても、ディズニーランドや富士山、日光東照宮や鴨川シーワールド、サファリパークに諏訪湖等々利用者の皆さんの様々な希望を踏まえながら旅行先を決定しています。また行きたい旅行先として沖縄や九州、大阪のUSJや黒部ダム、更には韓国やハワイといった国外を希望する声もあがっています。まことくらぶの使命である「夢をかなえよう」のもと、いつの日か希望を叶え、国外旅行も出来るような、そんな事業所にしていきたいと考えています。今年の旅行は9月5日～7日の3日間で、初めて旅館を貸し切りにしての旅行を計画しています。皆さんの思い出に残る安全且つ楽しい旅行となるようスタッフ一同ただ今絶賛準備中です。(ワークセンターまことくらぶ 副施設長 吉本達郎)

♥ 保 育 事 業 本 部 ♥

「至誠あずま保育園」は平成19年4月に旧工場の内装工事を行い開園しました。東町自治会に加入し、「あずま」という地元の名前を頂いたこともあってか、直ぐに地域の方々に親しんでいただける保育園になりました。園庭の無い保育園ですが、周辺の散歩ではご近所の方々と挨拶を交わし、「かわいいね」と声をかけて頂きます。毎日の遊び場、市民の森スポーツ公園では高齢の方々と顔見知りになり、季節の歌と一緒に歌ったり、ボール遊びの相手などもして下さいます。多摩川の土手も子ども達の遊び場となりました。いずれの場所も桜や紅葉、草花や昆虫など、自然溢れる環境で子ども達は楽しんでます。

そして毎日の戸外活動で足腰も強くなり、4,5歳児になると高尾山登山も楽しめるようになりました。小さいころからモンテッソーリ活動をしていた手は、お泊り保育の夕食づくりで包丁を上手にコントロールして使える手になっています。園児50名と言う小さな園ですが、子どもと大人が笑顔いっぱい、一人ひとり楽しい時間が過ごせる居場所となるよう、今日も職員一同協力し合っています。(至誠あずま保育園 園長 霧田清江)

♥ 高 齢 事 業 本 部 至 誠 ホ ー ム ♥

今月は私が担当します。暑い日が続きます。

至誠ホームでは毎年「1泊園長会議」を行っています。会場は、ここ何年か、神奈川県三浦海岸で2日間の開催としています。先日も7月19日の昼、三浦海岸駅に集合しました。海水浴などを楽しむ若い人や家族連れの中、私たち、橋本理事長、旭ホーム長はじめ14名は(川原経営のT氏もご参加されます)プールにも海にも入ることなく、「口の字型」の会場で、テーマごとに腰をすえて、ひたすら議論を繰り返しました。パック型の研修スタイルが運営できて、円滑に進められます。

資料はテーマごとに区切り、インデックスを付けて、1冊のクラフトファイルにセットしたものを、事前に会場に送ってあります。

「外国人の受け入れと育成」「新施設建設関係・組織体制」「働き方改革」等の直近の経営課題や2年、3年がけの計画やビジョン作り、場合によっては「人事構想」等も話し合います。議長はホーム長、進行は私ですが、全員が活発に発言します。事務方で作成した資料やデータに見方を变える考え方や主張が展開されます。

夕食は一堂に会しての楽しい宴会です。今回は期せずして、A氏が誕生日間際(7月21日)しかも60回目でした。宿泊所のご配慮もあり、赤い頭巾と羽織をまもっていただきました。A氏はとても似合っていました。その後の部屋での二次会や三次会そして翌日の会議まで、楽しく充実したものでした。

「時」と「場所」「職場を離れて」の会議はまたひとつ違う味わいがありました。

(統括事務局長 金井裕一)

本部事務局だより

先月は、内部管理体制と内部統制とは意味が異なるというお話をしました。内部管理体制とは「法人全体の運営の在り方、会議体を中心とした、意思決定と相互牽制のあり方を会議体や規程の形で整備する」ことです。一方、内部統制は「事務マニュアル等を作成しその手順に従って会計処理などを行うことで不正な事務処理(着服等)を防ぎ、正しい決算(粉飾決算の排除)を行うこと」が目的です。

この、内部統制を「現金管理」を例にとって具体的に見てみると、①現金管理が重要であることを認識し、②経理規程あるいは現金管理規程(内規)を策定し、③規程に基づいたマニュアルを作成し、それに基づいて経理処理をおこない、④上長・管理者が定期的(例えば月1度)点検し、結果を本部等に報告し、⑤内部監査者(例えば川原経営)がチェックし、⑥会計ソフトのPW管理・ウィルス対策、データ保全等を行う、と言う6つの構成要素に分類できます。監査では、内部統制が機能しているか否かを知るためには、モニタリングが行われますが、それには大きな手間がかかります。そこで簡易的に「チェックリスト」や「自己点検シート」で確認することが推奨されています。この点検シートは、東京都福祉保健局ウェブサイトに掲載されています。

(法人事務局 局長 野島忠幸)

<編集後> 甚大な豪雨被害に見舞われた7月、青梅市でも気温40℃を超えるなど、記録的な酷暑となりました。ギリシャでは熱波による山火事、ラオスでは村がダム決壊で飲み込まれ…世界各地で自然が猛威を振るいます。